

## 第4回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所  
2021年度 第4回 理事会議事録

日時:2021年4月6日(火) 19:00～

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・加度亮平・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵大・池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一郎・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(欠席者) 高橋建太

(遅刻) なし

(早退) なし

### 次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (高山敦好)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (中島裕一郎)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (沼田剛志)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人名並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

一昨日は今年度の尾道青年会議所としての初めての対外事業を未来ビジョン委員会を筆頭に行いました。

多くのお客さんに来て頂き、楽しんで帰ってもらったと思います。

各委員会それぞれがサポートとして、多くのメンバーに参加していただいたことが凄く良かったと思っています。

コロナ禍の開催で、みんなで協力をしないといけないという状況で、きちんと協力ができている、良い空気の中で事業が行えたと感じました。

今年初の対外事業で、良いところも、思うところも、皆さんそれぞれ色々な意見があったかとは思っています。

それらは未来ビジョン委員会の委員長、副委員長にはしっかりと伝えて頂き、報告書にして頂いて、今後の対外事業に活かして欲しいと思います。

改めて1発目の事業、お疲れ様でした。

## 第4回理事会 議事録

私が言いたいことは先月の理事会で言わせていただきましたので、今日は拡大活動について1点お願いしたいと思います。

3月が終わり、これから6月までの3ヶ月間、拡大の期間があります。

期間の半分を超えたところで、仮入会が5名となっております。

拡大委員会がしっかりと動いてくれているのは、皆さんわかっていると思います。

そして、拡大委員会の頑張りは前半である1~3月に偏ります。

これから後半戦は拡大委員会以外のメンバーがしっかりと動いて、仮入会員を獲得するのが一番良い流れです。

私の持論で、何度かお伝えしているかもしれませんが、JCに入会して今のメンバーが65名いますが、「それぞれが1人でも獲得すれば総数は減らない」。

これまでメンバーが減り続けているのは、一部の人だけが拡大活動をしている状況があるからです。

JCに入って、皆さん何かしら恩があるのではないかと思います。

その恩返しが、未来の尾道青年会議所の存続のために、メンバーを紹介していくということだと思います。

この中で新規メンバーを獲得したことがない人がいれば、今年は理事メンバーとしてその責任を果たすべく努力して欲しいと思います。

また、委員会メンバーに拡大活動を行うメンバーがいれば、一緒になって活動して欲しいと思います。

誰かを誘うことで、自分の気持ちも変化しますし、責任感も生まれます。

これまでも、拡大活動を行うことで良い変化をされた方を沢山見てきました。

自分のためにも、未来の尾道JCのためにも、残り3か月、拡大活動を頑張りたいと思います。

以上です。本日もよろしく願いいたします。

### 11. 直前理事長挨拶：(加度良平)

まずは、内海委員長を初めとする、未来ビジョン委員会の皆様、対外事業お疲れ様でした。

当日のことに關しては、先ほど安楽城理事長がおっしゃったとおりだと思います。

私自身も、初めてとなる対外事業ができたことを嬉しく感じました。

対外事業で最も重要なのは、来て頂いたゲストをいかに大切にするかという、おもてなしの心を出せるかという事だと思います。

事業の内容は当然大切ですが、それだけでなく事業の設えや、私たちの態度や挨拶など、そういうところを大切にしなければいけないと感じました。

## 第4回理事会 議事録

昨年の卒業例会の際に、先輩方からご指摘を受けたのはそれらをないがしろにしたからだと思ひますし、今年の新年宴会で褒めていただいたのは、それらを大事にしたからだと思ひます。

今後も対外事業を行う際は、そこに意識を向けていただければと思ひます。

直近では、家族会もそういった形でできればより良いと思ひます。

今一度、設え等でベストを尽くしてもらいたいと思ひます。

本来であれば、直前理事長は理事会にはあまり来ませんが、本日はそのことをお伝えしたかったということがあります。

そして、ここからはブロック会長として話をさせていただきますが、5月8日にブロックの初の事業である「ブロックゴルフ大会」が行われます。

ゴルフ大会の目的として「他 LOM との繋がりを大事にしよう」ということがありますので、是非とも皆様に参加していただきたいと思ひます。

私からは以上になります。本日もよろしくお願ひいたします。

### 12. 理事長報告：（安楽城大作）

資料にて確認。

### 13. 委員会報告：

#### 【社会開発室】（島田元太）

#### 「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

4月4日のYoutuber体験事業にご協力いただきありがとうございます。

臨機応変に対応して頂き、子供達に楽しんでもらえるように動いていただき大変助かりました。

委員会報告は記載のとおりです。

本日は協議事項が1件ありますので、よろしくお願ひいたします。

#### 「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

別件でみなと祭りについてですが、みなと祭り実行委員会の方から連絡があり、これまでみなと祭りに協力頂いた団体に「頑張ろうビデオメッセージ」の作成の依頼がありました。

30秒程度のビデオメッセージで、こちらに関しては事務局で対応していただけるということです。

#### 【指導力開発室】（吉田雄太）

#### 「地域教育実践委員会」（島田昌広）

## 第4回理事会 議事録

委員会報告は記載のとおりです。  
家族会について話し合っています。  
本日、審議上程が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「組織活性化委員会」（山本恭平）  
委員会報告は記載のとおりです。  
夏期講習について話し合っております。  
本日、審議上程が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

【JC 運動推進室】（歌一行）  
「拡大研修委員会」（吉田嵩正）  
委員会報告は記載のとおりです。  
本日は審議事項が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「総務広報委員会」（小西琢真）  
委員会報告は記載のとおりです。  
6月例会について話し合っています。

### 14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 2月例会 事業報告（案）決算（案）に関する件  
（山本恭平）

資料読み上げ（1-1、1-2、1-3）

資料参照（1-9、1、11、1-25）

アンケート結果についてですが、設問1「組織として、そこに集まる人同士が繋がろうと意識をする必要性を感じましたか？」に対しては、「はい」と答えた人が100%でした。

また設問3の「2で選択した中で組織において、最も必要だと思うもの」という、複数の回答から1つ選ぶ問いに関しては

①「組織内の目的意識を共有する」が14票。②の「組織内部の繋がりを深める」が12票で、この2つを選んだ人が出席者の全体の75%以上となっております。

アンケート結果のまとめを1-25に記載しております。

設問4に関しても、相関性のある回答結果が得られました。

設問5に対しては様々な回答がありましたが、大きく共通する部分は「コミュニケーションを取る」という回答が多くありました。

設問6に関しては、大多数の会員がZOOMを用いた例会形式に「違和感を感じることなく受講できた」と回答頂きました。

## 第4回理事会 議事録

改善点に関しては、「音声通信の改善」という意見がありました。その他、「マニュアル作成や臨場感が少ない」という意見もありました。

アンケート結果に関しては以上です。

資料参照（1-26～1-43）

また、ZOOM 例会簡易マニュアルの「オーディオインターフェース」に関してですが、会場でのハウリングを押さえるための機械になります。

この度は Roland 社の製品を使用しました。こちらの製品は販売を終了しておりますが、Amazon 等で新品で4万円程度で購入できます。

中古だと2万円程度で良いものが購入できるとのことです。

オンラインの例会の頻度が今後上がるようでしたら、購入の検討をしていただければと思います。

今回はOBの岡田健吾先輩からお借りし、実施致しました。

とりあえずは必要な際はレンタルするほうが良いかと思えます。

また、リハーサルに関してですが、今回何度もリハーサルを重ねて実施に至りました。

ZOOM の基本的な操作の確認は必要になります。

また、「最悪の場面を想定」と言いましたが、具体的にはホスト PC がシャットダウンした際にも ZOOM は使えるのか等を確認していただきたいと思えます。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

（森川陵）

大変為になる、素晴らしい例会だったと思えます。

講師の先生からの意見や感想を聞かれていますら、教えて下さい。

（山本恭平）

一番は ZOOM を用いた講演が初めてだったとすることで「皆さんに伝わったか」という心配をされておりました。

また、講師として凄く良い経験をさせてもらったという、ポジティブな意見を頂きました。

\*全会一致で承認。

（安楽城大作）

素晴らしい報告上程でした。

## 第4回理事会 議事録

「ZOOMを簡易マニュアル」に関しては、事務局で誰でも見られるようにしたいと思います。

第2号議案 4月例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件  
(吉田嵩正)

資料読み上げ(2-1、2-2、2-3)

最後に4月例会のテーマの説明をさせていただきます。

「道程」は私が仕事やJC活動で指針としている、高村光太郎氏の詩からタイトルをお借りました。

この詩はシンプルで力強く、開拓者精神に溢れたもので、今も挑戦を続ける迫田監督と重なる部分があります。

また、私も拡大委員会の委員長として、2人のように道が見えずとも精一杯頑張りたいという決意からテーマにさせていただきます。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

(大池慎三)

仮入会員も参加できるようになっていますが、私がお誘いした人に関しては、こちらからお声がけすれば良いでしょうか。

また、人数制限はありますか。

(吉田嵩正)

10席用意しておりますが、仮入会員だけでなく、候補者の方でも興味がある方にはお越しいただきたいと思います。

審議通り次第声かけをしていきたいと思いますので、ご協力のほどお願いいたします。

(安楽城大作)

席は10席以上にすることは可能なのでしょうか。

(吉田嵩正)

レイアウトは10席で作っておりますが、まだそれを国際ホテル様にお渡ししていません。

相談すれば増席は可能かと思えます。

(安楽城大作)

## 第4回理事会 議事録

仮入会員や候補生の方もどういうことをしているのか気になると思いますし、1回体験していただいた方が誘いやすいと思いますので、可能であれば沢山の人に見ていただきたいと思います。

(高山敦好)

資料2-7の対談時の質問に関してですが、

⑦「迫田監督が指導される野球部のように自然と人が集まる組織になるためには？」

という質問を重点的にやれば拡大活動に繋がるとと思いますので、この質問を重点的にやっていたらと思います。

また、⑧「迫田監督から今後JCに対してどんな活動を期待するか？」

という質問に関してですが、迫田監督はJCに関してどの程度ご存じなのでしょう。

(吉田嵩正)

お会いした際にJCの存在についてはご存じでしたが、活動内容に関してはあまり知られておりませんでした。

ですので、その場で簡単にご説明させていただきました。

また、質問内容も事前にお渡ししておりますので、何かしら回答を頂けると思います。

\*全会一致で承認。

### 第3号議案 家族会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(島田昌広)

資料読み上げ(3-1、3-2、3-3)

その他の資料について、変更があったところのみご説明いたします。

資料参照(3-9)

「家族会概要」に一部変更がございます。

ヨーロッパの玩具のワークショップを13:20~14:25で設定しております。

ここに「当日使用した玩具にご興味のある方には、個別にゲームの種類や購入方法等、ご説明を致します」という文言と、

それぞれの玩具に対象年齢を追記しております。

資料参照(3-16)

「家族会のご案内」に2点変更がございます。

持ち物のところの「マスク着用」という文言を「小学生以上はマスク着用」という文言に変更しております。

## 第4回理事会 議事録

また、その他のところが、以前は感染防止の文章だけでしたが、ここにアレルギーに関して「小麦粉や卵を使用しない生地や、代用としてライスペーパーでの提供も致します」という文言を追加しました。

変更箇所は以上です。

以上慎重なる審議をお願いいたします。

(小西琢真)

小学生以上はマスク着用とのことですが、「幼児と小学生の比率」はどのくらいになるか把握されてますでしょうか。

マスクをしてない人が少ない場合、小学生の子供達から見て、特別感が出過ぎてしまうのではないかと心配しました。

(島田昌広)

参加人数に関しては、審議が通ってからのご案内になるので、現状ではお答えしかねます。

\*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 5月例会 事業計画(案) 予算(案)について

(内海洋平)

資料読み上げ(4-1, 4-2)

資料参照(4-4)

続いて、予算についてですが、「収支予算明細書(案)」にて説明させていただきます。

事業費繰入収入として60,000円を計上しております。

会場設営費支出として、看板代をメディアジャンクション様へ7,000円。

講師関係費支出として、交通費、謝礼費込みでNPO法人mamanohibi様に50,000円。

資料費作成費支出として、アンケート作成代を事務局にて3円×96名で288円。

事業予備費支出として2,712円を計上しており、合計で60,000円となっております。

資料読み上げ(4-5)

続いて「事業概要案」をご覧ください。

## 第4回理事会 議事録

講演は75分予定で、内容はおおきく4つの構成になっております。

- ①「mamanohibiの立ち上げ」では、立ち上げに関するお話から、高い意識や行動力についてお話しいただきます。
- ②「mamanohibiでの活動を通じて」では、10年間の活動を通じて「人との繋がり」を使って解決できた問題や、そこから生まれた新たな展開についてお話しいただきます。
- ③「コロナ禍での変化・対応」では、コロナ禍の困難な状況でも「繋がり」を保つための手法や考えをお話しいただきます。
- ④「これからのコミュニティのあり方」では、未来のコミュニティのあり方に対する彼女の考えを聞かせていただきます。

また、講演資料を添付しておりますが、活動記録のイメージ画像などが多く、テキスト等はあえて少なくしております。

よりお話を聞いて理解していただくためです。

井口氏はラジオDJ等で活動されており、トーク力を活かしてテーマを理解していただける内容になっております。

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(山本恭平)

資料4-5に「会場での質問を講演の中に組み入れ」とありますが、講演の中で何回くらい質疑応答ができる設えになっているのでしょうか。

(内海洋平)

講師の方から、長々と話すのではなく、メンバーの方から話を振ってもらうなどして、その都度柔軟に質疑応答できればという話をしております。

回数は現段階では未決定ですが、更に打ち合わせをして決めたいと思います。

(中島裕一郎)

NPO法人mamanohibiの具体的な活動内容をお教えてください。

(内海洋平)

講師の先生はラジオDJ等多岐にわたる活動をされておりますが、今回はmamanohibiの理事としてお話しいただきます。

事業概要欄の最初に記載しておりますが、井口氏が団体を設立するきっかけが福山市で起こった幼児の虐待死事件になります。

事件が起こった際に、母親だけが責められましたが、その母親は非常に孤独で相談する相手もいなかったという背景がありました。

その中で「ママ同士の繋がりを作りたい」という目標を持ち、コミュニティを作る活動を始められ、資料にあるような様々な繋がりを作る活動をされています。

(中島裕一郎)

今おっしゃられたことは、活動を始められた経緯だと思います。

具体的には地域などに対してどのようなことをやられており、内海委員長がどういうところに惹かれて講師として選ばれたのか教えてください。

(内海洋平)

どこに惹かれたかということですが、「ゼロベースから団体を作り活動されている行動力」であったり、団体立ち上げから10年の中で起こった様々な課題に対する解決方法であったりというところに魅力を感じ、講師として選びました。

(中島裕一郎)

日々の具体的な活動に関して教えて頂きたいです。

資料を見ると、写真が多く具体的な活動が見えてきません。

(内海洋平)

普段の活動についてですが、井口氏のお住まいの近くに古民家があり、そこを改装してママが集まってコミュニケーションが取れる場所を提供していたり、

天満屋やフジグランなどで「出張 mamanohibi」をやられていたりします。

また、福山市と連携して、無くなってしまいましたがRIMに「子供の国」という場所の立ち上げに携わるなど、様々な活動をされています。

(高山敦好)

事業目的を見る限り、内海委員長は今のコミュニティが危機的ということを伝えたいということなのではないでしょうか。

また、「事業目的」に対して「アンケート」が検証できるような内容になっているのでしょうか。

(内海洋平)

今年の未来ビジョン委員会のキーワードでもある「持続可能な」というところも意識しての例会になっています。

このまま今のコミュニティの状況が続いていくとは考えにくいというのが私の考えです。

## 第4回理事会 議事録

組織にもいても、地域にもいても、次世代に引き継ぐ為に何か新しいことを取り入れる必要があるのではないかと考え、このような表現になっております。

(高山敦好)

ブロックの役員団の方々も来られますので、「個人のコミュニティ」なのか「JCのような組織のコミュニティ」なのか、混乱してしまう部分も出てきそうなので、その点はしっかり線引きする必要があるのではないかと思います。

また、アンケートも数値が取れるような内容にした方が良いのではないかと思います。

(内海洋平)

委員会で参考にし、検討させていただきます。ありがとうございます。

(小西琢真)

コミュニティの危機的な状況を受けて、今後のあり方を考えるということですが、今回の講師の方はママさん中心のコミュニティだと思います。

母親というのは、子供のために参加しようというモチベーションがあるように見受けられます。

そこで培ってきたコミュニティの作り方を、どのように我々のようなボランティア団体や、会社という組織や地元のコミュニティに繋げていくのかという、手法や考えはありますでしょうか。

(内海洋平)

ママ同士のコミュニティだけではなく、様々な地元企業とコラボレーションして活動もされています。

オンラインの影響も含め、コミュニティのあり方が多様化する背景がありますが、色々なコミュニティに当てはまるお話が聞ける講演内容となっております。

(島田昌広)

NPO 法人 mamanohibi の立ち上げのきっかけとなった事件が、具体的にどのようなものだったか教えてください。

(内海洋平)

10年前に福山市で子育てをされていた母親が、3歳くらいの子供を虐待死させてしまった事件です。

様々なメディアでも取り上げられ、母親が責められたのですが、調査を進めるうちに母親の孤独な背景が明らかになりました。

## 第4回理事会 議事録

転職した夫についてきた母親は周りとの繋がりが全くなく、相談相手もいませんでした。どこか頼る場所があれば、違った結果だったのではないかと、井口氏がNPO法人mamanohibiの立ち上げのきっかけになった事件です。

(吉田嵩正)

コミュニティに焦点が当てられていますが、内海委員長の惹かれた「ゼロベースでの行動力」などにも焦点を当てたほうがいいのではないかと感じました。

(内海洋平)

事業概要案や講演内容の資料がわかりづらかったかもしれませんが、事業目的にあるように「自身の意識を向上させ行動力・着眼点を高める」ことができる講演内容に致します。

(岡本正也)

講師の使われる資料が足りないように思います。  
例会がどのようになるのか、イメージが全くできません。  
わかりやすい資料があれば付けていただきたいです。

(内海洋平)

もっと具体的に講演内容がわかるような資料を、審議までに作成いたします。

(島田昌広)

資料4-9の看板のテーマの文字が小さいように思います。  
このまま制作される予定でしょうか。

(内海洋平)

2行になり、小さくなってしまっておりますが、メディアジャンクション様に調整いただく予定です。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行)

特に無し

17. 連絡事項：(加藤雄大)

特に無し

18.監事講評：

(今岡正英)

皆様お疲れ様でした。

本日上程のあった件について2点お伝えしたいと思います。

まずは、家族会についてですが、今はコロナウイルス対策で気を遣うことが沢山あると思います。

お子さんが来られるので想定外のことも起こりえますので、一人一人の役割を明確にして、きちんとそれが伝わるようにしておいていただきたいと思います。

想定外のことが起こっても、事故やケガに繋がらないようにしっかりと準備をお願いします。

そして、5月例会に関してですが、テーマが「コミュニティ」ということで、とても難しいテーマであると感じました。

先ほどもご指摘がありましたが、資料がわかりづらいというのは私も感じました。

内海委員長の中では、どういうお話をしていただき、どういうことを皆さんに伝えたいかという答えがあると思いますので、その辺りを講師と詰めていただいたら、もっと良くなるのではないかと感じました。

以上、簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認：(歌一行)

5月10日(月) 19:00より 国際ホテルにて

20.閉会：(歌一行)

21.点鐘：(安楽城大作)